



2019年8月8日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 乾 康之  
 (コード番号：9308 東証第一部)  
 問 合 せ 先 コーポレートマネジメント部長  
 加藤 貴子  
 (TEL. 03-5548-8613)

### 2020年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月14日に公表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,240	百万円 366	百万円 271	百万円 628	円 銭 25.25
今回発表予想(B)	10,899	△391	△477	△55	△2.21
増減額(B-A)	△341	△757	△748	△683	—
増減率(%)	△3.0%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期第2四半期 連結累計期間)	11,442	16	△363	△544	△21.89

#### 2. 2020年3月期通期連結業績予想値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,697	百万円 171	百万円 △68	百万円 305	円 銭 12.26
今回発表予想(B)	22,148	△1,013	△1,243	△809	△32.53
増減額(B-A)	△1,549	△1,184	△1,175	△1,114	—
増減率(%)	△6.5%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	23,008	396	△51	639	25.72

### 3. 業績予想の修正理由

当社の外航海運事業、業績予想における市況想定は、恣意性を取り除く意味もあり、海運先物市場に連動させております。第1四半期連結累計期間の外航海運事業におけるスモールハンディ船の市況は、米中貿易摩擦の影響等で、想定よりも軟調に推移しました。これに海運先物市場に連動させた市況前提を加味した結果、通期連結売上高は前回の業績予想を1,549百万円下回る22,148百万円（うち外航海運事業の売上高は、前回予想14,631百万円であったところ、今回12,987百万円へ修正）となる見通しです。通期連結営業損益は、前回予想から1,184百万円減少の営業損失1,013百万円（うち外航海運事業の営業利益は、前回予想△1,375百万円であったところ、今回△2,592百万円へ修正）を予想しております。第2四半期連結累計期間業績予想値の営業利益の前回予想366百万円から今回△391百万円へ修正については、売上高の下方修正に加え、下期に予定していた船舶の入渠工事が上期に実施の見通しとなったことによるものです。

なお、倉庫・運送事業及び不動産事業は概ね期初想定通りに進捗しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上